



2015 / 1



Building Maintenance News AICHI

発行・編集

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会 広報委員会

E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp / URL <http://www.aichi-bma.jp>

〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-10 伏見フジビル8階

TEL 052-265-7536 / FAX 052-265-7537

今月の視点

新年挨拶

一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会
会長

加藤 憲司

新年、明けましておめでとうございます。

日頃ご指導いただいております関係官庁、関係の各団体、そして会員の皆さまにおかれましては、清々しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、今年の日本経済を見ますと、期待された景気の上昇はいま一步というところであり、当業界におきましては、最低賃金アップに代表される経費増大、さらには来年の社会保険適用拡大など、依然として難しい経営環境にあります。また、昨年にも増して厳しい人材不足が続くものと予想されます。こうした難しい環境であればこそ、我々は業界として団結し、一企業ではできないことを、協会という組織で実行し、乗り切っていかなければなりません。

当愛知ビルメンテナンス協会は、昨年創立50周年の盛大な記念行事を行い、記念誌も発刊することができました。会員の皆さまのご協力ご支援に、心より厚く御礼申し上げます。

今、新しい時代を迎え、会員にとってより存在意義のある協会にするため、これまでになかった事業の展開を検討

しているところです。

当協会がまず取り組まねばならないのは、「公契約」の問題であります。ご承知のように、愛知県では現在、契約制度の改革に着手しようとしております。これは当業界の業務運営に多大な影響を及ぼすもので、当協会では、各団体とも協調し、要望を行っているところであります。

また、各委員会の再編成も検討しようと考えています。よき伝統は継承発展させ、改むべきは勇気をもって改革していかねばなりません。協会員の皆さま全員が、この協会に入っていてよかったと感じられるような委員会運営を目指して、今年も引き続き努力してまいります。

会員の皆さまにおかれましては、協会の各事業にこれまで以上に積極的にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

この一年が皆様にとりましてより良い年でありますことを心より祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

この一年が皆様にとりましてより良い年でありますことを心より祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



新春を迎えて

愛知県知事

大村 秀章



あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、3月に「あいちビジョン2020」を策定し、リニア新時代を見据えた大都市圏づくりに向け、社会基盤の整備や産業振興、教育・人づくりなどに全力を注いでまいりました。また、「ESDユネスコ世界会議」、「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014」の開催などを通じ、全国、世界に向け、愛知を大いに発信することができました。

今年も、ビジョンの着実な推進を図りながら、愛知の更なる飛躍を目指してまいります。

まず、世界に発信する「中京大都市圏」づくりです。2027年度のリニア開業による5千万人の大交流圏の実現をにらみ、名古屋駅のスーパーターミナル化や鉄道・高速道路ネットワーク、空港、港湾の強化を図ってまいります。

また、燃料電池自動車を始めとする自動車産業の高度化、航空宇宙産業やロボット、健康長寿など次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援などに力を入れ、産業競争力をより一層高めていくとともに、農林水産業のパワーアップを図り、「産業首都あいち」の実現を目指してまいります。

そして、こうした愛知を支える「人づくり」に全力で取り組み、子ども、若者、女性、高齢者、障害のある人など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

さらに、国内外を代表するスポーツ大会の育成・招致に取り組むとともに、今年を「あいち観光元年」と位置づけ、愛知の魅力を高め、積極的に発信してまいります。

こうした取組のほか、戦略的なグローバル展開、地震・津波対策などの安全・安心な地域づくり、「環境首都あいち」に向けた取組、地方分権・行財政改革、東三河県庁を核とした地域振興などにも力を注ぎ、愛知の総合力を一段と高めてまいります。

さて、今年、2005年の愛知万博から10周年です。秋には、愛・地球博記念公園をメイン会場に、「全国都市緑化あいちフェア」を開催します。花と緑にあふれた愛知の魅力を感じていただけるようしっかり取り組み、万博の成果を継承・発信してまいりたいと思います。

これらの取組を通じ、「日本一元気な愛知」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成27年元旦

“日本一 ひとが育つまち ナゴヤ”

名古屋市長

河村 たかし



あけましておめでとうございます。一般社団法人愛知ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

東京と名古屋を約40分でつなぐリニア中央新幹線の工事実施計画が昨年認可され、総事業費5兆円と言われる巨大プロジェクトがいよいよ動き出しています。これにより、名古屋に対する注目は今後更に高まってくると考えられ、まさに空前のチャンスであると捉えています。

一方で、東京と約40分でつながることにより、仕事やレジャーは東京へ出て行き、名古屋は住むだけの場所になりはしないかという懸念があり、これを払拭するためには、市民の皆様が全国へ胸を張って自慢できる強烈な都市魅力が必要だと考えています。名古屋人の心の拠りどころである名古屋城や、多様な古墳の特徴を見ることができる志段味古墳群、日本一の巨大国際展示場構想など、旧来の魅力・新たな魅力を併せて発信し、将来「東京都名古屋区」などと揶揄されることのないよう、「世界に冠たるナゴヤ」を目指したいと考えています。

また、私も齢66歳となり、より良い社会を引き継いでいくために、将来を担う若者や子ども達に対する施策が極めて重要だと考えています。昨年4月からは、カウンセラーなど常勤の専門職が、教員とともに学校現場における問題の未然防止や個別支援をおこなう日本で初めての取り組み「なごや子ども応援委員会」を始めました。日々手探り状態ではありますが、確実に手ごたえを感じ始めているところです。待機児童対策では、保育所等の拡充により、計算上ながら昨年4月1日時点の待機児童数ゼロを達成しましたが、これはあくまで通過点であり、今後も更に取り組みを進めてまいります。

まちが今後も輝き続けるためには、人が健やかに、立派に育ち、活躍できる環境を備えていることが不可欠です。「日本一ひとが育つまち」を目指して施策を推進してまいりたいと考えています。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

平成27年元旦

新春のご挨拶

愛知労働局長

藤澤 勝博



平成27年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年9月、愛知労働局長の職に就き4ヶ月余りが経過いたしました。この間、愛知の労働行政が働く皆様方の生活に安心・安全をもたらすものとなるよう、また、働くことを希望する方にふさわしい仕事が確保されるよう努めてきました。年頭に当たり、私自身が行政運営の先頭に立ち、引き続き様々な課題に取り組んで行くという気持ちで新たにしているところです。

着任した9月以降、リニア中央新幹線の着工、燃料電池車の発売、国産小型ジェット旅客機の完成披露など、全国的にも愛知に注目が集まる明るいニュースが続きました。年末には、名古屋の大学で研究を行う赤崎、天野両教授がそろってノーベル物理学賞を受賞され、まさに「モノづくり愛知」の面目躍如の一年でした。

こうしたニュースと相まって、愛知の有効求人倍率も、昨年1月の1.49倍から6月に1.57倍まで上昇、その後は低下したものの10月現在で1.50倍と依然として高い水準にあり、雇用情勢は緩やかな改善が続いています。特に、建設、医療、介護、保育など人手不足の課題が見られる分野では、業界団体のみならず、建設業では発注行政機関等、医療、介護分野においては愛知県とも連携を強化し、雇用管理改善を人材確保に結び付けるような取組みを進めます。

愛知では、リーマンショック前に6割を超えていた正社員就職割合が、現在は5割を下回って推移しています。最近の雇用情勢の改善を背景に、求人の確保と職業相談等に重点的に取組み、特に若者を中心に正社員就職の実現を目指します。

また、全国ワースト3である障害者雇用率については、昨年暮れに愛知県副知事とともに経済団体の皆様への訪問要請を行ったところですが、引き続き県を始めとする関係機関とも連携し、障害者雇用の改善に取り組めます。

昨年11月に愛知県で開催された全国技能五輪、全国障害者技能競技大会（アビリンピック）では、愛知県選手団が10年連続で最優秀技能選手団賞を受賞するなど、将来を担う愛知の若い技術者の活躍が目立ちました。こうした取組みが、若者や障害のある方の一層の雇用促進につながることを期待されるところです。

本年10月、「全国産業安全衛生大会」が愛知県で開催されます。愛知では、経済活動の活発化等に伴い、労働災害は、死傷災害が横ばい、死亡災害は増加傾向にあるなど憂慮すべき状況にあり、サービス業、特に小売業などの災害防止が難しいと言われていた業種に対する指導も強化することとしており、今回の全国産業安全衛生大会開催を迎えるにあたり、労災事故の減少につな

げたいと考えています。

一方、愛知の女性の就労状況に関しては、全国平均と比べ、男女間の賃金格差が大きく、管理職の割合が低いなどの状況が見られます。こうした状況も踏まえ、女性にとって働きやすい職場環境を整備するとともに、管理的地位に占める女性の割合増加に向け、関係機関とも連携協力の上、企業の皆様への働きかけを積極的に行ってまいります。

さて、本年は、いくつかの法令の施行を控えています。

差別的取扱いの禁止される対象の拡大等が盛り込まれた「改正パートタイム労働法」、法律の有効期限が10年間延長され、新たな認定制度も創設された「改正次世代育成支援対策推進法」、無期労働契約への転換ルールの特例を定めた「専門的知識等を有する有期雇用労働者等に関する特別措置法」などが、今年4月に施行されます。また、昨年改正された労働安全衛生法についても、「化学物質のリスクアセスメント」、「ストレスチェックの実施」、「受動喫煙防止対策の努力義務化」などが今後段階的に施行されます。これらの法令の円滑な施行に向け、適切に周知を図ってまいります。このほかにも、厚生労働省の労働政策審議会では、現在の労働時間法制のあり方などが検討され、また、女性活躍推進法案も国会に再提出されることが見込まれています。

愛知労働局は、引き続きすべての労働者の適正な労働環境を確保するとともに、若者、女性、高齢者、障害を持つ方などが、希望する働き方を選択し、能力が発揮できる環境の整備に努めてまいります。更に関係機関・団体等と連携し、地域の実情を踏まえた労働行政の推進に全力を注いでまいります。

本年は、愛知労働局が発足して15年という節目の年でもあり、地域における総合労働行政機関として、労働基準行政、職業安定行政、雇用均等行政、職業能力開発行政の4行政がより一層連携し、労働者及び事業主の支援を効果的に行っていきたくと考えています。

本年の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

愛知県健康福祉部
保健医療局長
加藤 昌弘



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろから本県の健康福祉行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴協会におかれましては、昨年2月に創立50周年という大きな節目の年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げますとともに、今後とも、ビルメンテナンス事業を通じて、建築物衛生を始めとする生活衛生の向上に引き続き御尽力いただきますようお願い申し上げます。

さて、近年、人の健康や環境への県民の関心はますます高まっており、生活や活動の場である建築物においても、安全で衛生的であるだけでなく、人や環境にやさしい維持管理が求められています。

このような中、平成20年に建築物衛生法に基づく建築物環境衛生維持管理要領が改定され、ねずみ等の防除を行うに当たっては、総合的有害生物管理、いわゆるIPM(Integrated Pest Management)の考え方を取り入れた防除体系に基づき実施することとされました。

本県では、平成23年11月に貴協会を始めとする業界団体と、本県を始めとする行政機関が一体となった「愛知県IPM推進会議」を設立し、建築物のねずみ・昆虫等防除の実施においてIPMの考え方を取り入れた人の健康や環境に配慮した建築物の環境衛生管理の推進を図っているところです。貴協会におかれましては、引き続き、IPMの普及啓発に御協力いただきますようお願い申し上げます。

また、本年2月5日(木)には、名古屋市教育センター(熱田区)において、建築物環境衛生の知識と技術の向上を目的とした第29回愛知県建築物環境衛生管理研究集会を開催いたします。同会の特別講演といたしまして、一般財団法人省エネルギーセンター特任講師三角治洋氏に「ビル等の節電・省エネ対策」について、御講演していただきます。会員の皆様方におかれましては、節電・省エネ対策を取り入れた建築物の維持管理について、一層の理解を深めていただくために、是非ともご参加いただきたく存じます。

本県といたしましては、今年も県有施設において引き続き薬剤の適正使用に努めることはもとより、人の健康と環境に優しいIPMについて、市町村や建築物の所有者・管理者等への普及啓発を行っていく所存でありますので、貴協会におかれましても、御理解と御協力をお願いいたします。

平成27年元旦

新年のご挨拶

愛知県警察本部生活安全部長
川合 隆善



新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会の皆様には、旧年中は、日々の警備業務を通じて、犯罪や事故の未然防止に真摯に取り組んでいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

さて、愛知県の犯罪発生状況をみますと、刑法犯認知件数は、昨年(11月末現在)78,508件で、前年に比べて11,373件、12.7%減少し、統計的な治安情勢は回復に向かっている状況にありますが、皆様の勤務場所でもあります会社事務所を狙った事務所荒らしや住宅を狙った空き巣などの「侵入盗」や「自動車盗」は、全国ワースト1位を記録するなど、県民の皆様が安全・安心を体感するには至っていないと考えております。

愛知県警察といたしましては、真に県民の方々の「安全・安心」を確保するために、地域の犯罪情勢に即した諸活動を戦略的に展開し、地域住民、事業者、関係団体、自治体等の方々と連携して、犯罪が起きにくい社会の実現に向けて、各種施策を強力に推進してまいり所存であります。

さて、現在、県内には警備業者約700社、33,000人を超える警備員の方々が施設警備業務を中心として幅広い分野で活躍しております。警備業は県民の自主的な防犯活動を補完・代行する生活安全産業として極めて重要な役割を担っており、今や社会の安全に欠くことの出来ない存在となっております。

その社会の要請、信頼に応えるためにも、皆様方には今まで以上に質の高いサービスの提供が求められているところであり、そのためには基盤となる警備員の資質、能力の向上と警備業務の適正な実施が重要であります。

貴協会におかれましても、ビルメンテナンス事業における各種講習会等を通じて、各分野における専門的知識、技能の向上を図っていただくとともに、生活安全産業としての業界の発展にご尽力されることを期待するものであります。

また、会員の皆様におかれましては、厳しい治安情勢を充分にご理解いただき、本年も引き続き治安回復のためにお力添えいただきますようお願い申し上げます。

最後に、愛知ビルメンテナンス協会の一層のご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成27年元旦

年頭のご挨拶



名古屋市消防長
堀場 和夫

新年明けましておめでとうございます。

平成27年の新春を健やかに迎えのことに、心からお慶び申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会員の皆様には、日頃から市民の安心・安全のため献身的にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、各地で発生した災害の中でも、特に自然災害が報道に多く取り上げられました。この自然災害の多くは、突発的に発生することから逃げる間もなく、今日まで想定されていた予想を超えて襲いかかることを改めて認識させる教訓となり、消防行政の災害に対する構えを、組織を上げて強化していかなければならない時期に来ていると考えさせられた年でした。

4年前の東日本大震災後、これまで策定された国による防災に関連する計画等が見直しされました。名古屋市では、南海トラフ巨大地震の発生による被害想定を昨年2月及び3月に公表し、過去の地震を考慮した最大クラスとあらゆる可能性を考慮した最大クラスの2つの地震から、人的被害や建物被害の推計を示しました。

この被害想定を基に、市民の命を守るとともに、市民生活への影響を最小限とするための対策を、市をあげて、「名古屋市震災対策実施計画」を軸にソフトとハードの両面から取り組んでいるところです。

大規模災害が発生した直後は、まず個人や地域、事業所等において、命を守る行動を最優先として行うこととなります。直ちに、その行動へ移るためには、日頃から危機感を持って、防災意識と具体的な避難行動などを身につけていなければなりません。

現在、消防局をあげて家具等の転倒・落下防止や備蓄をいただくことを『自助力向上の促進事業』として啓発しております。

地域防災力の強化を図るためにも、引き続き消防局、消防署及び消防団が一体となって、市民とともに取り組んで参る所存です。

一方、名古屋市における火災につきましては、減少の傾向となっていますが、更なる火災による被害の軽減を図るため、一般家庭における住宅用火災警報器の普及啓発や事業所に対する防火防災管理者等の教育などを重点課題と認識し、火災予防の効果的な推進を行って参りますのでご協力をお願いいたします。

本年も消防・防災行政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会並びに貴会員各位の益々のご発展、ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。



副会長 水藤 維人



副会長 吉田 治伸



理事 本多 清治



理事 勝野 隆



理事 堀口 弘



理事 田中 宏



理事 服部 弘司



理事 福岡 輝道



理事 山口 義浩



理事 新原 正也



理事 酒井 秀京



監事 大澤 隆



監事 加藤 義幸



監事 八木 伸二



相談役 武村 節雄



相談役 吉田 銑三



平成26年度労働安全衛生パトロール 実施報告 労働安全衛生委員会

今年度も、下記のとおりパトロールを実施しました。

実施期間 平成26年11月7日(金)～11月19日(水)の延べ6日間

実施場所 会員が業務を行っている事業所のうち清掃管理業務の現場5カ所、設備管理業務の現場3カ所及び施設警備業務の現場1カ所を選定し、パトロールを実施した。

(協力を頂いた会員)
(株)アサヒファシリティズ名古屋支店、(株)建光社、サンエイ(株)、(株)セイビ名古屋支店、昭和建物管理(株)、(株)ダイケングループ名古屋支店、大成(株)、東海ビル管理(株)、名鉄ビルディング管理(株)

パトロール (労働安全衛生委員会委員13名)

実施方法 2名1組で各事業所を訪問し、予め示した清掃管理業務21項目、設備管理業務17項目、施設警備業務23項目について、聞き取り、現地調査を実施し5段階評価を行った。

実施結果 (清掃管理業務) 対象8事業所の平均点は、5点満点で4.1点。最高4.8点。最低3.2点。
(設備管理業務) 対象3事業所とも全て満点。
(施設警備業務) 対象事業所は4.2点。

概況 概ね、良好に管理されていたが、いくつか改善を要する点が散見された。

(改善を要する事項)
・清掃控室のロッカーの耐震対策がなされていない事業所があった。(ロッカー上部に突っ張り棒を取り付ける等の対策が必要)
・清掃用具が置いてある倉庫の給排水管部分にダスター本体が立て掛けてある事業所があった。(ダスター本体を出し入れする時、配管表面を傷つける恐れがあり、建物に付随する設備等の周囲に物を置かない様にするため、床にカラーテープを貼って区切りをする等の措置をすると良い。)
・棚の上にダストカートなどの大きな物がいくつか置いてある事業所があった。(震災や何かのはずみで上の物が落ちて頭部に当たる恐れがあるため、棚の上部には、軽くて、落下しても怪我のおそれの無いものを置くよう配置を工夫する必要がある。)
・ゴミ収集所の一部に、天井高の低いコンクリート層のままの事業所があった。(移動の際、頭部や顔に当たって怪我をする恐れがある為、クッション材等を使用し保護できるような改善が必要)
・緊急用備品で、自社の物だけでなく、貸与品もあり、取扱いに不慣れと思われるケースがあった。(習熟す

るため、機会を見つけ使用の訓練を行う必要がある。)

措置 今後の労働安全対策の参考にしていただくため、改善内容を記載した実施報告書を対象となった会員へ送付した。

パトロールの対象となった会員の皆様には、ご繁忙の中ご協力いただき誠にありがとうございました。

平成26年度 労働安全衛生優秀作品について

本年度も、労働災害予防の意識高揚を図り労働災害を防止することを目的に、「ポスター・デザイン」「ヒヤリ・ハット事例」「標語」の募集を行いました。



「ポスター・デザイン」の部には7社14点、「ヒヤリ・ハット事例」の部には、11社128点、「標語」の部には14社153点の応募がありました。

平成26年12月16日(火)13時30分から開催された労働安全衛生委員会において、委員による厳正な審査により、それぞれの優秀作品を決定いたしました。

平成27年2月12日(木)に名古屋国際会議場において開催される労働安全衛生大会において表彰式を行い、賞状及び記念品を贈呈いたします。

入賞されました皆さん、おめでとうございます。

各部門の優秀作品は、次のとおりです。

【ポスター・デザインの部】

- 最優秀賞 栗木 誠也(大成(株))
- 優秀賞 岡田 愛菜(福佳(株))
- 佳作 大日向 マリコ(コニックス(株))
- 佳作 塘田 ゆみ子(ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株))
- 佳作 アッシー 喜久美(大成(株))



最優秀賞



優秀賞

【ヒヤリ・ハット事例の部】

- 優秀賞 矢澤 孝宜(朝日メンテナンス工業(株))
- 優秀賞 廣木 芙美子(管財(株))
- 優秀賞 林 茂生(ジェイアール東海総合ビルメンテナンス(株))

- 優秀賞 木村 昭人(昭和建物管理(株))
- 優秀賞 江頭 薫((株)ダイケングループ名古屋支店)
- 優秀賞 星野 茂春((株)ダイケングループ名古屋支店)
- 優秀賞 蛭田 隆仁(大成(株))

【標語の部】

- 優秀賞 井口 ひずる(管財(株))
「慣れた作業に危険の芽 気持ちのゆるみが 事故を呼ぶ」
- 優秀賞 岡田 祥宏(コニックス(株))
「何事も空返事は 事故の元!」
- 優秀賞 加藤 文之(昭和建物管理(株))
「安全は、確かな手順の積み重ね。」
- 優秀賞 分部 俊文((株)ダイケングループ名古屋支店)
「見、聞、触、五感で感じて 事故防止」
- 優秀賞 谷口 オーラワン(大成(株))
「見直そう 笑顔とマナーと 身だしなみ」
- 優秀賞 森山 登((株)トヨタエンタプライズ)
「危ないぞ 保護具無しでの その仕事」

【理事会・各種委員会等】

◆第6回理事会

開催日時 平成26年12月12日(金)16時00分～
 開催場所 協会事務局
 出席者 加藤会長始め14名の出席を得て、加藤会長が議長となり審議を行った。
 主な審議事項 新年賀詞交歓会について
 平成27年度事業計画・予算案について
 平成27・28年度役員選考委員会委員について
 委員会報告/全協報告/中部北陸地区本部報告/

◆第3回総務厚生委員会

開催日時 平成26年11月28日(金)16時～
 開催場所 協会事務局会議室
 新年賀詞交歓会及び平成27年度事業計画について協議した。

◆第7回広報委員会

開催日時 平成26年12月18日(木)10時～
 開催場所 協会事務局会議室
 ビルメンニュース1月号の構成及び会員募集案内パンフレット等について協議した。

◆第2回労働安全衛生委員会

開催日時 平成26年12月16日(火)13時30分～
 開催場所 協会事務局会議室
 労働安全パトロール実施結果、労働安全衛生大会について協議するとともに、労働安全衛生大会作品の審査を行った。

【会員の動き】

1月1日現在会員数
 普通会員 119社 賛助会員 22社

普通会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
26.12	㈱錦成	退会	

賛助会員			
年月	会員名	異動(変更)事項	異動内容
26.7	ケルヒャージャパン(株)名古屋支店	登録者	新 名古屋支店長 藤村生寿 旧 名古屋支店長 榎山兼一郎
26.12	シーノバイエス(株)	代表者	新 代表取締役社長 山口十一郎 旧 代表取締役社長 三隅俊郎

平成27年2月の予定

如月

- 2日(月)・3日(火)・4日(水)・5日(木)ビルクリーニング検定試験(実技)(トレーニングセンター)
- 5日(木)愛知県建築物環境衛生管理研究集会(市教育センター)
- 12日(木)労働安全衛生大会(名古屋国際会議場)
- 17日(火)中部北陸地区本部会議(静岡県)
- 19日(木)清掃作業従事者研修指導者講習会(再)(ウイंकあいち)
- 26日(木)普通救命講習Ⅱ(名古屋市応急手当研修センター)

賛助会コーナー

ボンド セラミック床専用洗剤
 [水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)は配合していません]

油汚れ、土砂汚れに
効果的!

低 臭

腐食性が
少ない

セラミック床の細孔(ポーラス)に
入り込んだ汚れもスッキリ洗い上げる!

廃棄時に
潰しやすい
減容ボトル
採用



NET 4ℓ(2本/ケース)

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/>

大阪本社 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル)	TEL 06(6228)2811	東京本社 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア)	TEL 03(5259)5711
名古屋支店 名古屋市中区新栄町2-4(坂橋栄ビル)	TEL 052(217)8620	福岡支店 福岡市南区清水3-24-24(日吉ビル)	TEL 092(551)1761
札幌支店 札幌市東区北八条東3-1-1(宮村ビル)	TEL 011(731)0351		
仙台営業所 仙台市青葉区中央2-9-27(プライムスクエア広瀬通)	TEL 022(211)5031	栃木営業所 栃木県下野市栗262-9	TEL 0285(43)1511
高崎営業所 群馬県高崎市東町32-1	TEL 027(324)3002	横浜営業所 横浜市中区鶴町1-5-5(関内スクエアビル)	TEL 045(663)3184
金沢営業所 石川県金沢市駅西本町3-16-11(エムロード駅西)	TEL 076(223)1565	広島営業所 広島市西区己斐本町1-9-12(己斐本町ビル)	TEL 082(507)1911
高松営業所 香川県高松市木太町2796-4	TEL 087(835)2020		

事務局だより

新年 あけましておめでとうございます。
 本年も、昨年同様、どうぞよろしく願いいたします。

昨年は皆様のご支援、ご協力のお蔭で協会創立50周年を迎えることができ、記念式典も盛大に開催することができました。

あらためて皆様方に御礼を申し上げます。
 さて、業界を取り巻く環境は、未だ先行きの不透明な状況は続いてはいるものの全国協会の実態調査の結果を見ると、好転の兆しも見られるようになってまいりました。

人件費の高騰や、社会保険の適用拡大等不安要素を抱えた中ではありますが、本年が業界にとって再飛躍の年となりますことを心から祈りたいと存じます。

事務局も、更に皆様方に役立つ協会となるよう尽力したいと思っておりますので、何卒お力添えよろしくお願い申し上げます。